



前進

第4号

7月19日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎全校で人権集会

熊本県は、6月を「心のきずなを深める月間」と定めています。佐敷小学校では6月23日（金）に全校で人権集会を実施しました。子供たちは各学級で定めた人権宣言を発表し、他者を大切にする「心」と「行動」を確認し、定期的に学級で振り返ることにしています。

私の方からは、「みんなの命は多くの人の命を受け継いでいる」「友達を助ける前向きな言葉」の二つの話をしました。

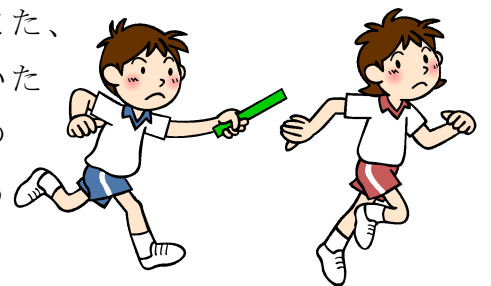
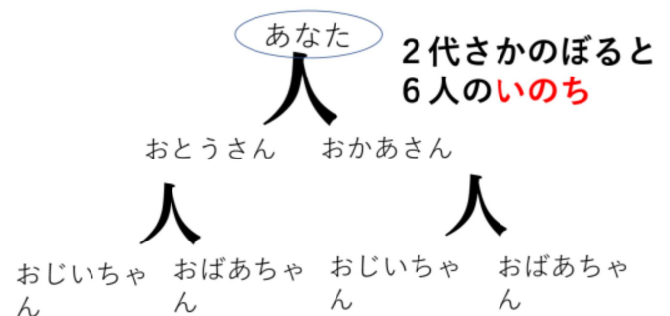
まず、みんなの命は多くの人の命を受け継いでいることについて、「人」という文字をモデルにしました。右のスライドを提示して「2代さかのぼると、みんなは6人の命を受け継いでいることがわかります。そ

れでは、10代さかのぼると何人の命を受けついでいることになるのでしょうか。」と尋ねました。この答えは2052人です。多くの人の命を受け継いだかけがえのないみんなの命。誰もが人権を尊重される社会であってほしいと思いますし、佐敷小の子供たちも他者を大切にできる人に育ててほしいと思います。

次に、学校で起こりうる場面について話しました。クラス対抗リレーで負けてしまったAさん。「Bさんが走るのが遅いから負けた。」とBさんを言葉で攻撃します。Bさんは自分は走るのが遅いことを自覚しています。また、何も言い返すことはしませんでした。その様子を見ていたCさん。CさんがAさんに同調したならば、Bさんへの攻撃はエスカレートして、集団でのいじめへとつながるでしょう。ところがCさんはこう言ったのです。

「Bさんのぶんまで、自分たちがもっとはやく走ればいいでしょ。」

素敵な言葉ですね。こんな前向きな言葉が飛び交う学校でありたいと思います。私は話のまとめとして、子供たちに「苦しんでいる人、困っている人を支える人になってほしい。」という話をしました。



◎味噌造り体験

7月4日(火)に、岩永醤油の岩永さんをお迎えし、4年生が味噌造り体験をしました。岩永さんは息子さんとともに、懇切丁寧に味噌造りを教えてくださいました。麴の独特の香りが家庭科室に広がると、「味噌のにおいだ。」とつぶやく子供もいました。どの子供も、雑菌が入らないように最善の注意をしながら真剣に味噌造りに取り



組んでいました。できた味噌は9月のチャリティバザーで販売予定です。子供たちが丹精込めてつくった味噌です。多くの方の購入をお待ちしています。

◎たくさん収穫できますように

1・2年生は今年度もJAあしきたのご支援でサツマイモの植え付けをしました。梅雨の晴れ間に行い、多くの苗が根付いたようです。例年子供たちが収穫したサツマイモは、給食センターに寄付し、給食の食材に利用いただいています。今年は子供たちがご家庭に持ち帰るほど収穫できたら良いなと思います。



◎芦北支援学校との交流

6月29日(木)に3年生は芦北支援学校の子供たちとオンラインでの交流を行いました。画面越しではありましたが、笑顔で交流ができ有意義な時間を過ごしました。なかなか直接の交流はできませんが、今後も継続した交流が大切だと感じています。



【校長室から】梅雨の時期はグラウンド周辺の草もどんどん伸びます。私が草刈り用の作業着に着替えて作業を始めようとする、「校長先生、草刈りありがとうございます。」という元気な声が。もしかしたら担任の先生が指導されたのかもしれませんが、おもわず「ありがとう。」と笑顔になりました。佐敷小の子供たちの優しく素直な一面を感じたひとときでした。また、今日は「校長先生、水かけありがとうございます。」という言葉に癒やされた一日になりました。